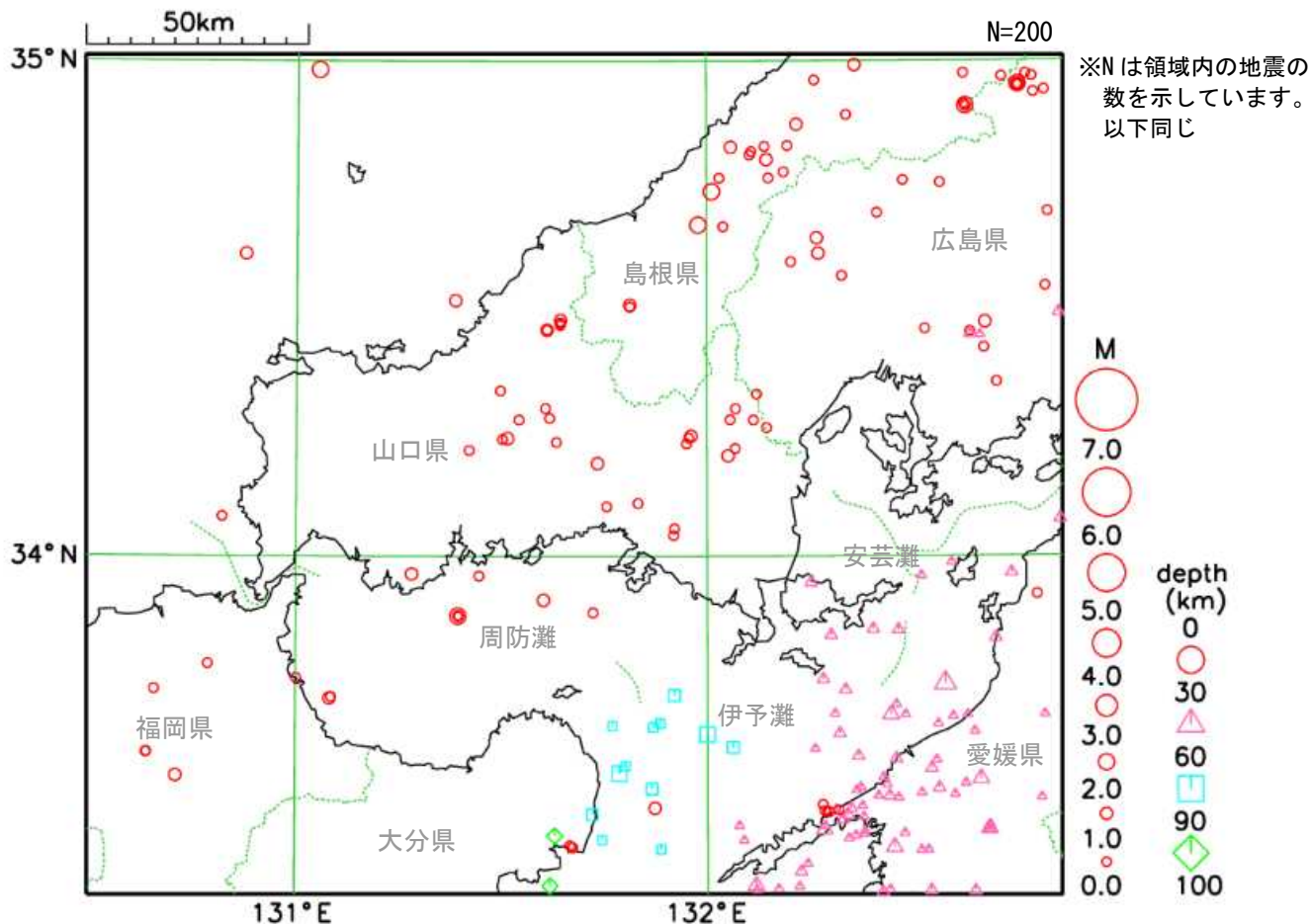


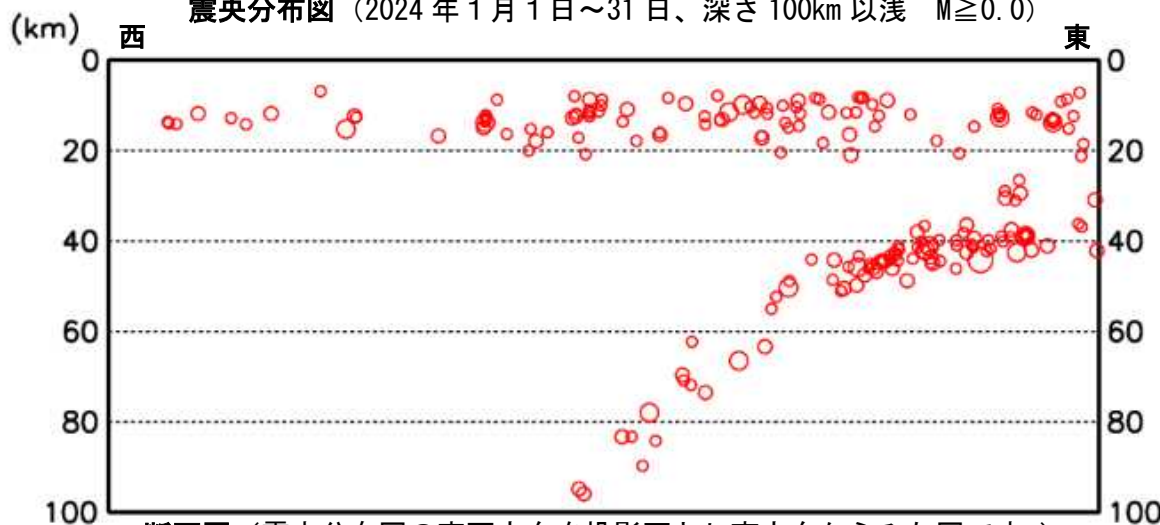
# 山口県の地震活動概況 (2024年1月)

令和6年2月9日  
下関地方気象台

1月に山口県内で震度1以上を観測した地震は1回(下図領域外)でした(2023年12月は2回)。



震央分布図 (2024年1月1日~31日、深さ100km以浅 M $\geq$ 0.0)



断面図 (震央分布図の東西方向を投影面とし南方向からみた図です。)

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

### 令和6年能登半島地震（1頁震央分布図領域外）

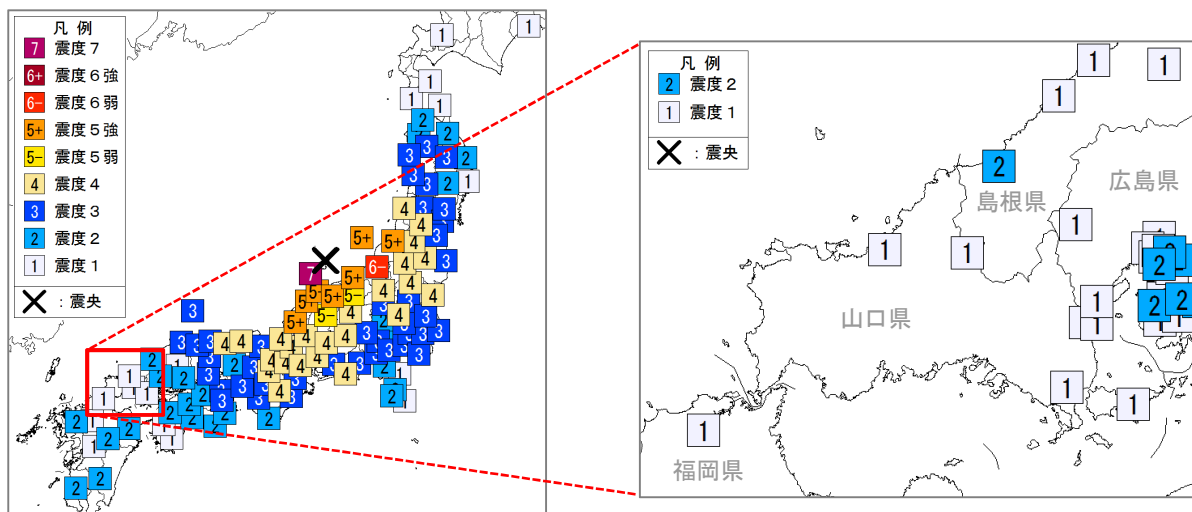


図1 震度分布図（左図：地域別、右図：観測点別）

1日16時10分に発生した石川県能登地方の地震（M7.6、深さ16km）により、石川県の輪島市と志賀町で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測しました。山口県では、山口市と萩市及び岩国市などで震度1を観測しました（図1）。

気象庁は、この地震に伴い石川県能登に大津波警報と日本海沿岸を中心に津波警報及び津波注意報を発表しました。山口県では山口県日本海沿岸に津波注意報を発表しました。この地震により、石川県の金沢で80cm、山形県の酒田で0.8m<sup>(注)</sup>の津波を観測するなど、日本海沿岸を中心に津波を観測しました。山口県では下関市南風泊港で6cm、下関市彦島弟子待で9cm、下関港長府で4cmの津波を観測しました。

気象庁は、2024年1月1日に石川県能登地方で発生したM7.6の地震及び2020年12月以降の一連の地震活動について、その名称を「令和6年能登半島地震」と決めました。

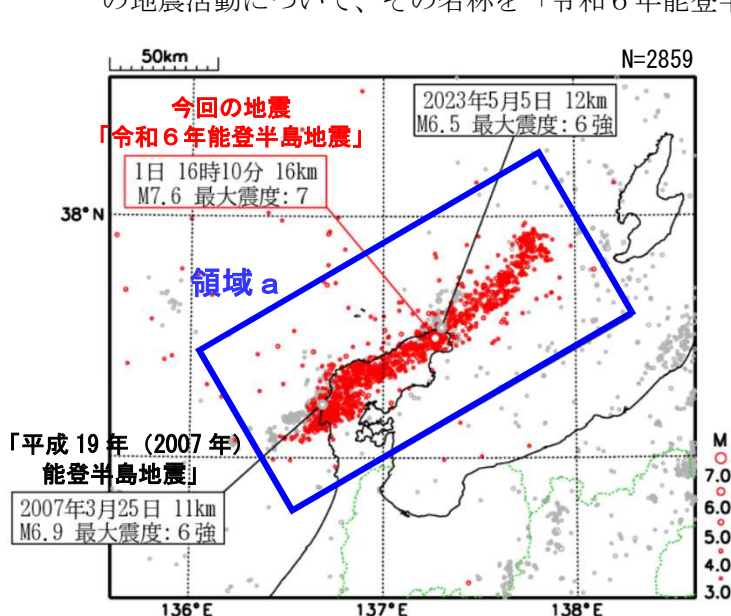


図2 震央分布図  
 (1997年10月1日～2024年1月31日、  
 深さ0～30km、M≥3.0)  
 ※今期間の地震を赤色で表示

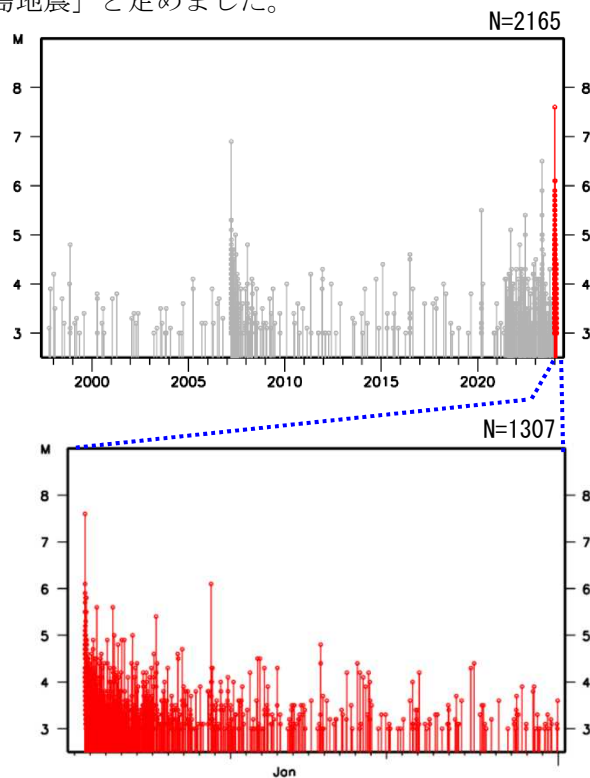


図3 領域a内の地震活動経過図  
 (上段：1997年10月1日～2024年1月31日  
 下段：2024年1月1日～2024年1月31日)

(注) 巨大津波地震計による観測のため、観測単位は0.1m。

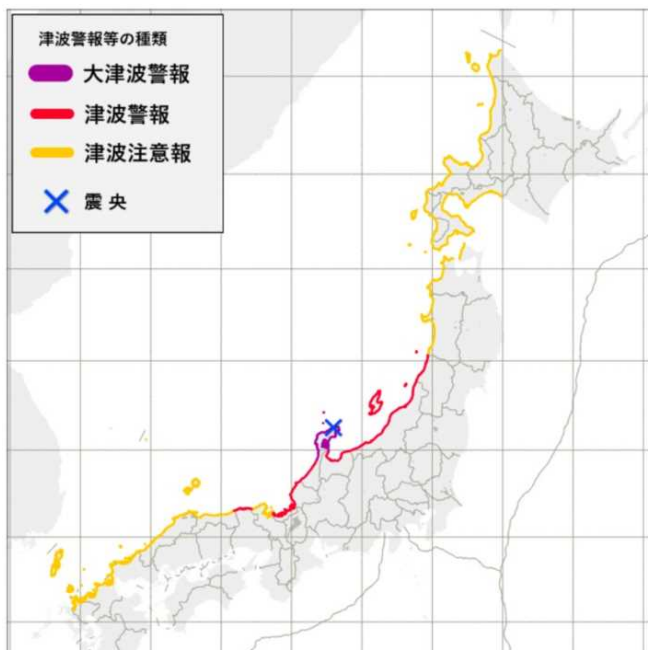


図4 津波警報等の発表状況

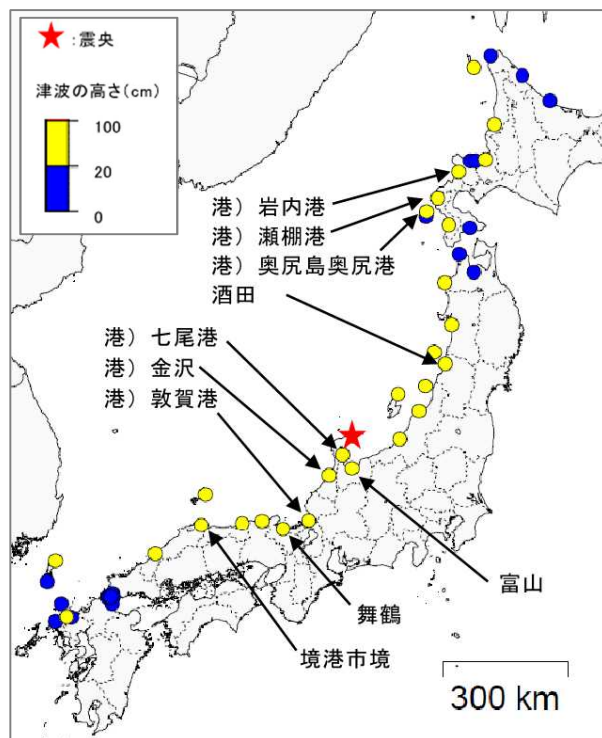


図5 津波を観測した地点  
 ※港) は港湾局の所属であることを示す。

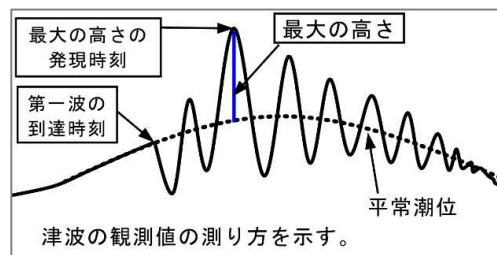


図6 津波の測り方の模式

山口県で震度1以上が観測された地点

2024年1月1日～2024年1月31日

各地の震度		時分	緯度	経度	深さ	マグニチュード	震央地名	
2024/1/1	震度1	16:10	37° 29.7' N	137° 16.2' E	16	M7.6	石川県能登地方	
	震度1	16:10	37° 30.4' N	137° 13.8' E	10	M5.9	石川県能登地方	
	震度1	16:10	37° 31.0' N	137° 14.4' E	10	M---	能登半島沖	
山口県	震度1	萩市江向*,岩国市今津,岩国市横山*,柳井市南町*,和木町和木*,周防大島町東和総合支所*,山口市阿東徳佐*						

- ・「\*」の付いた地点は、山口県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
- ・地震の震源要素は暫定値であり、後日変更することがあります。
- ・複数の震源要素を付記しているものは、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができないことを示します。規模 (M) の大きい上段の地震で代表して扱います。M---は値が決定できないことを示します。

## 「令和6年能登半島地震※」での津波注意報等の発表状況について

1月1日16時10分に石川県能登地方で発生した地震に伴い、九州・山口県には津波注意報を山口県から佐賀県にかけての日本海沿岸と壱岐・対馬に発表しました。これらの地域では最大で32cmの津波が長崎県の対馬比田勝で観測されました。九州・山口県の日本海沿岸で津波が観測されたのは、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」以来です(2022年1月のフンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山の大規模噴火に伴う潮位変化を除く)。以下、今回の津波注意報の発表・解除の流れについて解説します。

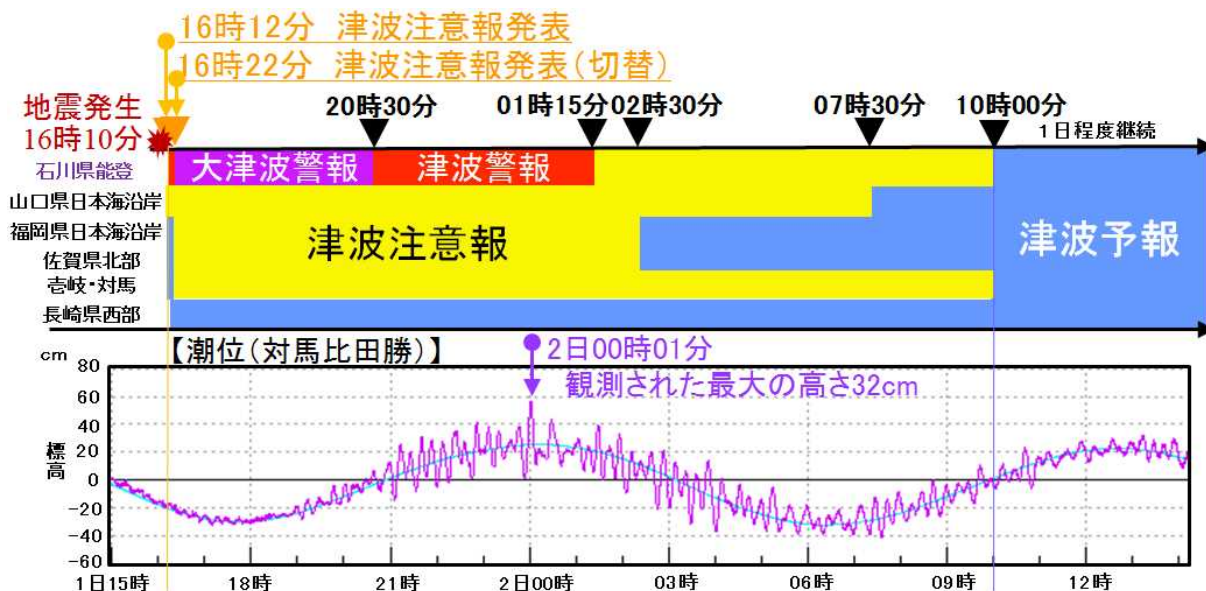
1月1日16時10分に発生した地震を受けて、16時12分に山口県日本海沿岸に津波注意報を発表しました(この時点ではマグニチュードを7.4と算出)。その後、地震波を詳しく解析したところマグニチュードがより大きい7.6と求められたことから、16時22分に福岡県日本海沿岸、佐賀県北部、壱岐・対馬にも津波注意報を発表しました(下図参照)。

その後、津波の観測状況から津波注意報の解除を判断し、福岡県日本海沿岸と佐賀県北部は2日02時30分、山口県日本海沿岸は同日07時30分、壱岐・対馬は同日10時00分に解除しました。

なお、津波注意報解除後には、若干の海面変動が継続するおそれがある津波予報を発表しています。津波予報が発表されている間は、海に入っの作業や釣り、海水浴などに際しては十分な留意が必要です。

※気象庁は、2024年1月1日に石川県能登地方で発生したM7.6の地震及び2020年12月以の一連の地震活動について、その名称を「令和6年能登半島地震」と定めました。

### 「令和6年能登半島地震」で気象庁が発表した津波注意報等(主に九州・山口県)



津波警報等については、以下の気象庁HPをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html>